



令和元年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年6月13日

上場会社名 SAMURAI&J PARTNERS株式会社
コード番号 4764 URL <https://www.sajp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 慶一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 塩澤 卓也

TEL 03-5259-5300

四半期報告書提出予定日 令和元年6月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年12月期第1四半期の連結業績(平成31年2月1日～平成31年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年12月期第1四半期	141	82.8	22		25		43	
31年1月期第1四半期	77	372.1	83		86		88	

(注)包括利益 元年12月期第1四半期 58百万円 (%) 31年1月期第1四半期 88百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
元年12月期第1四半期	1.23	
31年1月期第1四半期	2.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
元年12月期第1四半期	2,773	2,199	77.3	61.34
31年1月期	2,704	2,209	81.5	63.04

(参考)自己資本 元年12月期第1四半期 2,144百万円 31年1月期 2,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
31年1月期		0.00		0.00	0.00
元年12月期					
元年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和元年12月期の連結業績予想(平成31年2月1日～令和元年12月31日)

当社グループは、売上並びに費用に関して短期的な変動要因が多いため、四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	元年12月期1Q	34,968,800 株	31年1月期	34,968,800 株
期末自己株式数	元年12月期1Q	株	31年1月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	元年12月期1Q	34,968,800 株	31年1月期1Q	29,850,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、売上並びに費用に関して短期的な変動要因が多いため、四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成31年2月1日～平成31年4月30日）における、わが国経済は、経済政策を背景に企業収益や雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済につきましては、通商問題の動向や中国経済の先行きなど、海外経済の動向と政策に関する不確実性或金融市場の変動が引き続き懸念され、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「SAMURAI TRANSFORMATION」の基本戦略に基づき、既存事業における基盤及び営業力を強化し収益性向上に努めてまいりました。また、事業規模の拡大を目的として積極的に業務提携を行い、安定収益基盤の構築に向けた取組みを開始しております。その中でも、「クラウドファンディング分野」におきましては、認知度及び信用力の向上を目的とし、商品ラインナップの拡充やプロモーション活動等を積極的に進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績におきましては、売上高141,684千円（前年同四半期比82.8%増）、営業損失22,992千円（前年同四半期は営業損失83,925千円）、経常損失25,076千円（前年同四半期は経常損失86,443千円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失43,087千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失88,425千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態におきましては、総資産は、2,773,929千円（前連結会計年度末と比べ68,944千円増）となりました。

また、流動資産は、1,923,474千円（前連結会計年度末と比べ104,237千円減）となりました。これは主に現金及び預金は938,308千円（前連結会計年度末と比べ165,642千円増）となりましたが、営業貸付金が626,693千円（前連結会計年度末と比べ236,798千円減）となったこと等によるものであります。営業貸付金の減少額と現金及び預金の増加の差異については、現金及び預金の一部が投資その他の資産の購入に使用されたためであります。

固定資産は、850,454千円（前連結会計年度末と比べ173,182千円増）となりました。これは主に投資その他の資産225,459千円（前連結会計年度末と比べ176,958千円増）となったこと等によるものであります。

流動負債は、355,686千円（前連結会計年度末と比べ84,688千円増）となりました。これは匿名組合預り金が226,305千円（前連結会計年度末と比べ84,632千円増）となったこと等によるものであります。

固定負債は、218,546千円（前連結会計年度末と比べ6,353千円減）となりました。これは長期借入金188,390千円（前連結会計年度末と比べ6,510千円減）となったこと等によるものであります。

純資産は、2,199,695千円（前連結会計年度末と比べ9,390千円減）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成31年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	772,665	938,308
受取手形及び売掛金	24,912	33,812
営業貸付金	863,491	626,693
営業投資有価証券	287,452	254,610
仕掛品	675	4,246
原材料及び貯蔵品	393	315
その他	85,113	68,893
貸倒引当金	△6,993	△3,406
流動資産合計	2,027,712	1,923,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	151,367	151,367
減価償却累計額	△7,399	△8,468
建物及び構築物(純額)	143,968	142,899
工具、器具及び備品	14,226	14,061
減価償却累計額	△8,254	△8,702
工具、器具及び備品(純額)	5,971	5,359
土地	442,884	442,884
有形固定資産合計	592,825	591,143
無形固定資産		
ソフトウェア	966	1,193
のれん	34,057	32,349
その他	921	308
無形固定資産合計	35,945	33,851
投資その他の資産		
投資有価証券	19,580	19,665
差入保証金	13,726	13,287
長期前払費用	1,892	2,858
破産更生債権等	162,332	162,332
繰延税金資産	1,400	1,200
その他	7,877	188,448
貸倒引当金	△158,307	△162,332
投資その他の資産合計	48,501	225,459
固定資産合計	677,272	850,454
資産合計	2,704,984	2,773,929

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成31年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45	75
匿名組合預り金	141,673	226,305
1年内返済予定の長期借入金	26,040	26,040
未払金	8,421	10,919
未払法人税等	18,429	18,096
前受金	15,787	28,742
賞与引当金	509	1,274
預り金	42,653	21,227
債務保証損失引当金	—	2,800
その他	17,436	20,204
流動負債合計	270,998	355,686
固定負債		
長期借入金	194,900	188,390
長期預り保証金	30,000	30,000
繰延税金負債	—	156
固定負債合計	224,900	218,546
負債合計	495,898	574,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,105,581	2,105,581
資本剰余金	1,118,155	1,118,155
利益剰余金	△852,071	△896,017
株主資本合計	2,371,664	2,327,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△167,084	△182,540
為替換算調整勘定	△275	△244
その他の包括利益累計額合計	△167,360	△182,785
新株予約権	4,781	54,761
純資産合計	2,209,086	2,199,695
負債純資産合計	2,704,984	2,773,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年2月1日 至平成31年4月30日)
売上高	77,502	141,684
売上原価	34,350	48,404
売上総利益	43,152	93,279
販売費及び一般管理費	127,077	116,271
営業損失(△)	△83,925	△22,992
営業外収益		
受取利息	2	4
その他	288	205
営業外収益合計	291	209
営業外費用		
支払利息	1,203	1,074
新株予約権発行費	964	1,000
投資事業組合運用損	234	—
貸倒引当金繰入額	—	91
その他	408	129
営業外費用合計	2,809	2,294
経常損失(△)	△86,443	△25,076
特別利益		
投資有価証券売却益	—	499
特別利益合計	—	499
特別損失		
訴訟関連費用	473	417
債務保証損失引当金繰入額	—	2,800
特別損失合計	473	3,217
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△86,917	△27,794
匿名組合損益分配額	—	3,659
税金等調整前四半期純損失(△)	△86,917	△31,454
法人税、住民税及び事業税	1,508	11,433
法人税等調整額	—	200
法人税等合計	1,508	11,633
四半期純損失(△)	△88,425	△43,087
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,425	△43,087

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年2月1日 至平成31年4月30日)
四半期純損失(△)	△88,425	△43,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△15,455
為替換算調整勘定	—	△244
その他の包括利益合計	34	△15,700
四半期包括利益	△88,390	△58,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,390	△58,787
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成30年2月1日 至 平成30年4月30日)

① 配当金支払額

該当事項はありません。

② 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

③ 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成31年2月1日 至 平成31年4月30日)

① 配当金支払額

該当事項はありません。

② 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

③ 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成30年2月1日 至 平成30年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	投資銀行事業	ITサービス事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	24,641	52,860	77,502	—	77,502
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,641	52,860	77,502	—	77,502
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△35,925	7,015	△28,909	△55,015	△83,925

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△55,015千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成31年2月1日 至 平成31年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	投資銀行事業	ITサービス事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	64,525	77,158	141,684	—	141,684
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	64,525	77,158	141,684	—	141,684
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,055	33,457	41,513	△64,505	△22,992

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△64,505千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。